

# 釧路教育 308

令和3年6月



発行／釧路市教育委員会 教育支援課 釧路教育研究センター

〒085-0016

釧路市錦町2丁目4番地 Tel (0154)23-5189 Fax (0154)25-5999

## 巻頭言

「1人たりとも、置き去りにしない授業」の実現のために

釧路市教育委員会 教育指導参事 大山 稔彦

新型コロナウイルス感染症によって教育活動が制約を受けておりますが、GIGAスクール構想によってICT環境は大きく前進し、釧路市においても授業におけるタブレット端末の活用やオンライン形式による研修講座が普通になってきています。

昨年度から、このICT環境を使って、コロナの影響で授業参観をする機会を奪われた初任段階教員に期間限定で授業の動画配信を行っています。初任段階教員は学校でも家でもパソコンで優れた授業を見ることができるようになりました。これは、初任者研修のすべてを道教委に任せていた時代から「釧路市の子供たちのために必要な人材を釧路市が育てるという時代」への変革であると捉えてください。

同様に、今年度からは初任段階教員に限らず、釧路市立学校に勤務するすべての先生方に授業力を高めていただくための3つの取組を進めることとしました。

1点目は、「釧路市授業スタンダード」の活用です。先生方には自らの授業を見直していただくための自己評価として、または自校の授業研で共通の評価票として活用してください。「学校職員人事評価制度」の目標シートに位置付けている学校もあります。一番効果的なのは、ご自身の授業を録画してご自身で評価することです。市教委では児童生徒による授業評価の方法を検討しております。

2点目は、参考となる優れた授業を提供することです。これが「学力向上推進委員会」です。現在、推進委員会ではGoogle Classroomの中で、各委員が自分の授業動画をアップして互いに授業を見合いながら協議を深めるという方法で活動を進めています。私も仲間に入れていただいているので、委員の皆さんの授業を拝見しています。とても新鮮で、心がワクワクします。笑顔でゆとりをもって子供に接する授業者と互いを認め合い安心して笑顔で学ぶ子供たちの姿が、授業の質の高さを物語っています。意図的・計画的に授業を構築していることが板書や発問、場の構成から伺えます。これらの授業を随時公開していきますので期待してください。

3点目は、「授業マイスター」認定制度です。優れた授業を提供できる先生を「授業マイスター」として認定します。この制度は秋田県大館市の取組を模したものです。全道で初めての取組になります。

これらの取組は、私たちが大館市から学んだ「1人たりとも、置き去りにしない授業」の実現のための「はじめの一步」にすぎません。先生方には、私たちと一緒に釧路市の子供たちのために「はじめの一步」を踏み出していただきたいと願っております。

終わりに、久しぶりに感じるこのワクワク感は、授業が好きになる子供が増える予感かもしれません。

### ■「釧路教育」第308号 contents■

- |                 |                               |
|-----------------|-------------------------------|
| 1 巻頭言           | 教育指導参事(釧路教育研究センター所長)の巻頭言です。   |
| 2 研究専門委員会の紹介    | 釧路教育研究センター研究専門委員会 今年度の活動紹介です。 |
| 3 釧路教育研究センター機構図 | 令和3年度釧路教育研究センターの運営体制の紹介です。    |

# 研究専門委員会 今年度の活動

釧路教育研究センターでは、北海道及び釧路市における教育目標と教育推進の具現のため、5つの研究専門委員会を設置し、実践的な研究・調査を進めています。各研究専門委員会は、釧路市の教育充実を図るために日々、活動しています。今回は、各研究専門委員会の活動について紹介いたします。

## 学習指導研究専門委員会



学習指導研究専門委員会では、2020年度から、『主体的・対話的で深い学び』を実現し、児童生徒の資質・能力を育成するための学習指導と適切な学習評価の在り方について、実践的な研究を行い、各学校における授業力向上や学習集団づくりの充実に向けて取り組んできました。

授業改善の視点である『主体的・対話的で深い学び』とはどのような学びであるのかという原点に立ち返り、釧路市として目指したい子供の学びの姿を明確にし、研究を進めていくことが必要であると考えております。

昨年度は、研究専門委員各々の授業づくりや学級・学年経営に関わる実践交流から始まり、先行研究している他地域の実践も参考にしながら、『主体的・対話的で深い学び』とはどのような学びであるのか、具体的な子供の姿を明確にしていきました。また、独立行政法人教職員支援機構（NITS）が提案している「実現したい子供の姿」をイメージ化したピクトグラムを活用しながら、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した単元デザインを作成を進めてきました。

今年度においては、単元デザインシートをもとに授業実践・検証をしていくことや、センター研修講座を通して情報を発信・共有していくことで、より活用しやすい単元デザインシートの作成手順や各教科等のデザイン例を紀要としてまとめていきたいと考えています。

学習指導研究専門委員長 佐藤 義人(昭和小学校)

担当講座	期 日	会場
「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善（国語科）	10月14日	未 定
「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善（算数科）	9月28日	未 定

## 生徒指導研究専門委員会



昨年度、生徒指導研究専門委員会では、自己有用感を育む学級経営の在り方について事例交流などを通して調査、研究を行ってきました。この1年間の活動を通じて、学級経営に関わる種々の課題の中から、「学級目標の活用」に着目することにしました。

学級目標は学級経営における「見通し」そのものであり、新学習指導要領との関連性も深いものと考えています。また、学級目標についての議論の中で、我々の課題意識を高めたのは、「目標は立てっぱなしで終わっていないか？」という点です。そのため、今年度は、「目標の決め方の工夫」や「掲示方法」、「振り返りの手法」や「個人目標との関連性の持たせ方」など学級目標を具現化するための方策について調査・研究を進めていきます。また、キャリアノートの分析を行

い、学級目標との関連性や、目標の振り返りに応用できないかを検討し、今年度発行する研究紀要が実用性のあるものになるよう鋭意活動を行っているところです。

最後になりましたが、日頃より本研究専門委員会の活動に際し、多くの皆様に多大なるご協力をいただき心から感謝いたします。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

生徒指導研究専門委員長 竹岡 良太(鳥取西中学校)

## 指導方法開発研究専門委員会



指導方法開発研究専門委員会では、授業におけるクロームブックの効果的な活用法について研究を進めています。

前身の教育工学研究専門委員会では、ICT機器を効果的に取り入れた授業づくりや、プログラミング教育の実践事例を発信してきました。また、センター研修講座での公開授業やミニ研修講座を開催し、多くの先生方に参加いただき、たくさんのご助言を賜り、実りのある研究となりました。

今年度からは、GIGAスクール構想実現に係り、授業の中でクロームブックをより効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びを実現するための研究・実践を行う予定です。具体的には、①オンライン授業を想定したクロームブックのインターネット機能やカメラ機能の活用、②Google Classroomを中心とした各種ツールの活用、③ロイロノート、タブレットドリルの活用です。また、ミニ研修講座も複数回開催し、釧路市の先生方にクロームブックの活用方法を広めていきたいと考えています。

釧路市の子供たちの学びの深まりを後押しする手段として、先生方に情報提供できるよう努めてまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

指導方法開発研究専門委員長 松枝 昌明(釧路小学校)

担当講座	期 日	会 場
一人一台端末活用ミニ研修	未 定	未 定

## 郷土読本研究専門委員会



郷土読本研究専門委員会では、小学校第3、4学年の社会科で活用する郷土読本『くしろ』の編集・改訂を中心に活動しています。

昨年度は、『指導の手引き』の作成を中心に活動してきました。また、子供たちが学習内容を確実に定着できるよう、『学習プリント』の作成(3年2単元のみ)にも取り組んできました。

今年度は、昨年度に引き続き、『指導の手引き』の作成を行うとともに、郷土読本の部分改訂作業などにも取り組んでいきます。そして、『学習プリント』を全ての単元分(教科書を中心に扱う単元は除く)作成する予定です。また、授業をされる先生方にとってより有益な資料として活用していただけるよう、授業に使える動画教材一覧を作成し、各校へ配布させていただきました。このデータは、ハイパーリンクが設定されており、PDFデータのままクロームブック等に保存し

て利用することができます。なお、郷土読本『くしろ』についてお気づきの点や疑問等がありましたら、釧路市教育委員会教育支援課までご連絡ください。

一人一台端末が配備され、新たな学習スタイルを模索しながらの教育活動が行われることになりませんが、よりよい郷土読本『くしろ』を提供できるよう、今年度も研究専門委員一同、活動していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

郷土読本研究専門委員長 津金澤 浩司(湖畔小学校)

## 特別支援教育研究専門委員会



特別支援教育研究専門委員会では、各校が抱えている特別支援教育における課題や問題点の解決方法について、また、児童生徒一人一人のニーズに応じた支援の方法について研究を進め、情報発信を行っています。

昨年度は、各校に配布しております研究紀要第188号『やってみよう!学級・授業のUD化ハンドブック』を、より活用していただけるように、研究紀要をもとに、本研究専門委員会で日常実践したものを交流、蓄積したものを特別支援教育通信にまとめて発行しました。

今年度は、学びの過程において考えられる困難さを克服するための個の障がいに応じた一人一台端末の効果的な活用方法について実践的な研究に取り組みます。そのために、まずは本研究専門委員がクロームブックに積極的に触れながら、各校のICTに係る実践等について情報収集を行ってまいります。その情報を基に、児童生徒が学びの過程でどのような困り感をもち、それを克服するためにどのように端末が活用できるのかを交流し、実践・蓄積したものを通信等で発信しようと考えています。

今年度は、新しい研究のスタートとなりますが、先生方の一助となるように取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

特別支援教育研究専門委員長 久末 卓也(鶴野小学校)

# 研究センター 機構図



学校教育部次長(教育支援課長)・指導主事	
 早坂 正俊 学校教育部次長 (教育支援課長)	 富田 直子 総括指導主事
 池 理砂 指導主事	 畠山 和彦 指導主事
 渡部 潤 指導主事	 吉岡 康一郎 指導主事
 関本 裕介 指導主事	 柴田 題寛 指導主事

教育相談員
 小関 としみ
 武山 昇

研究所員		
 主任所員 生徒指導担当 渡邊 悟之 (鳥取小学校)	 副主任所員 指導方法開発担当 浅田 貴由 (興津小学校)	 所員 学習指導担当 大場 公博 (昭和小学校)
 所員 郷土読本担当 北岡 知樹 (新陽小学校)	 所員 特別支援教育担当 濱淵 雅樹 (美原小学校)	

学習指導研究 専門委員会	生徒指導研究 専門委員会	指導方法開発研究 専門委員会	郷土読本研究 専門委員会	特別支援教育研究 専門委員会
◎ 佐藤 義人 (昭和小学校)	◎ 竹岡 良太 (鳥取西中学校)	◎ 松枝 昌明 (釧路小学校)	◎ 津金澤 浩司 (湖畔小学校)	◎ 久末 卓矢 (鶴野小学校)
○ 早川 将光 (景雲中学校)	○ 三守 絢子 (新陽小学校)	○ 村上 健介 (青陵中学校)	○ 藤井 健史 (城山小学校)	○ 松崎 真紀 (共栄小学校)
竹内 徹 (愛国小学校)	松田 和也 (阿寒小学校)	稲垣 宏治 (清明小学校)	磯部 香里 (興津小学校)	木村 浩子 (東雲小学校)
藤田美奈子 (芦野小学校)	吉藤 研人 (鳥取西小学校)	廣島 亨 (大楽毛小学校)	澤田 康介 (清明小学校)	加藤 さと美 (朝陽小学校)
秋保 健太 (音別中学校)	齋藤 政人 (幣舞中学校)	齋藤 舞 (桜が丘小学校)		佐藤 香織 (美原中学校)
	花里 謙一 (共栄中学校)			